

令和5年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

多治見市青少年まちづくり市民会議

1 わたしの主張 2023 多治見市大会

令和5年6月17日に、多治見市バロー文化ホールにおいて、「わたしの主張 2023 多治見市大会」を開催しました。

多治見市では、市内13小学校区の「わたしの主張 校区大会」において最優秀賞を受賞した小学生、中学生各1名が多治見市大会に出場することとしています。令和5年度も、各校区の代表合計26名が出場し、社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案、家庭や学校生活、友だちとの関わりなどを通じて感じたことなどをテーマに、熱のこもった主張が繰り広げられました。これらの主張に対し、参加者からは、「さまざまな社会問題に対する若者の素直な思いが聞けてよかった」、「考えさせられることがたくさんあった」などの感想とともに、今後の継続を望む声が多く寄せられています。



2 多治見市青少年まちづくり市民大会

令和6年2月24日に、多治見市バロー文化ホールにおいて、「未来を担う子どもたち 地域で守り育てよう」をテーマに、「令和5年度多治見市青少年まちづくり市民大会」を開催しました。

多治見市では、市内13小学校区にある校区まちづくり市民会議が順番で活動報告をすることとしています。令和5年度は、笠原、養正、精華の3校区が活動内容を報告しました。また、会場入口には全校区の活動を紹介するパネル展示も行い、各校区の活動を多くの方にPRしました。



3 挨拶で絆の日

多治見市では、「挨拶によって絆を築くことができるまちをつくりたい」という子どもたちの意見から始まった「挨拶で絆の日」があります。令和5年度も、7月3日と11月1日に、各校区で挨拶活動を行いました。

登校中の子どもたち、青少年まちづくり市民会議のメンバーのほか、登校を見守ってくださる保護者さんや地域の方、通勤途中の方など、多くの方が互いに「おはようございます」、「いってらっしゃい」などの挨拶を交わし、さわやかな一日の始まりとなりました。

